

【開催趣旨】

東日本大震災から6年8月が経過する現在も約5万7千人の多くの避難者が未だに県内・県外で長期避難生活を余儀なくされています。このシンポジウムでは、被災地・被災者の支援活動を通して得られた5年間の「基盤研究S」プロジェクトの研究成果を共有し、大規模災害に備える防災・減災について参加者と考えます。

日時：平成29年11月27日(月) 12:00～14:00

※「防災推進国民大会2017」開催期間中

会場：仙台国際センター 展示棟 会議室4
(宮城県仙台市青葉区青葉山)

主催：国立大学法人福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
「基盤研究S」プロジェクト

!!! 事前申込不要、参加無料!!!

※会場までは、公共交通機関をご利用ください。

★お問い合わせ先★

国立大学法人福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
「基盤研究S」事務局 千明(チアキ) 精一
☎024-504-2831 E-mil r864@ipc.fukushima-u.ac.jp

【プログラム】

○第1部 研究総括報告

〈研究代表者〉 帝京大学 教授 山川 充夫 ～福島復興・再生に向けた5年間の挑戦～

○第2部 活動成果報告

熊本学園大学 准教授 高木 亨

～被災地・被災者の支援活動から見た新たな課題～ (仮)

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 准教授 大瀬 健嗣

～東京電力福島第一原子力発電所事故災害からの復興～(仮)

○第3部 パネルディスカッション

「3.11東日本大震災・原子力災害からの教訓」

～大規模複合災害を通して防災を考える～

モデレーター：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター長・教授 初澤 敏生

コメンテータ：研究代表者 帝京大学 教授 山川 充夫

パネリスト：福島大学経済学類 准教授 吉田 樹

独立行政法人国際協力機構東北支部(JICA東北) 次長 三村 悟 氏

一般社団法人ふくしま連携復興センター 理事 山崎 庸貴 氏